

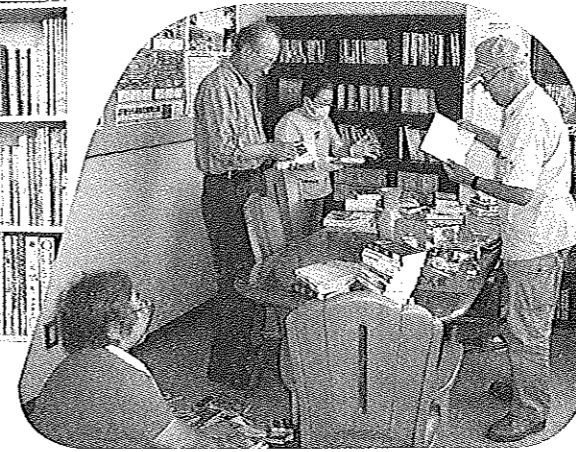
周南市飯島町1-13 Tel 22-8875 Fax 22-8813

# おいでませ きずな祭り



とき 平成20年2月22日(金) 9時30分～16時00分  
 2月23日(土) 9時30分～14時30分  
 ところ 中央地区公民館

## 中央地区生涯学習推進協議会 管理環境部会



部員は六名で構成されています。活動の目的は公民館の環境・整備で、五つの目標をあげています。  
 その一つは「図書の整理」です。内容は、不要、不良図書、破損した図書、閲覧されてない図書の整理です。現在よく読まれている本を優先的に並べるなど、全員で取り組み、分りやすく分類しました。  
 また、新刊も入りました。  
 一人でも多くの人に図書を利用していただくことを願っています。

## 新刊紹介



- 庭説法
- 清らかな厭世
- がばいばあちゃん笑顔で生きんしゃい!
- がばいばあちゃんスペシャル
- がばいばあちゃんに会いたい
- がばいばあちゃん幸せのトランプ
- ホームレス中学生
- 夫婦純愛
- 病気になるらない健康生活スタイル
- 日本よ、「歴史力」を磨け
- 「現代史」の呪
- 求めない
- 体を元気にする野菜100種の育て方
- おいしい野菜の作り方
- 親の品格
- 日本語オノマトペ辞典

## 地域が育むあいさつ運動



徳山小学校 教諭 平尾 寛  
 少年時代、自分から進んであいさつをすることが好きでした。とても気持ちよく、嬉しい気持ちになったからです。  
 その気持ちよさや嬉しさを教えてくれたのは、地域のおじさんやおばさんでした。気軽にあいさつを交わす雰囲気心地良かったのを今でも覚えています。  
 本校区におきましては、地域の皆さんが一丸となってあいさつの大切さを教えてくださっています。おかげさまで、校内でも元気なあいさつが飛び交います。心から感謝しております。

## これからの予定

2月11日(月)	建国記念の日行事	児玉公園
2月22・23日	「きずな祭り」(講師生の学習発表会)	中央地区公民館
	(金・土) (フリーマーケット・バザー等もあります)	
3月 5日(水)	徳山小学校区見守り一斉パトロール	徳山小学校運動場
3月16日(日)	中央地区親睦スポーツ大会	徳山小学校体育館
4月 6日(日)	さくら街道祭	美術博物館 東側駐車場

## お知らせ

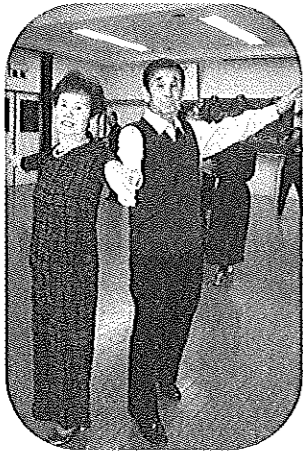
徳山小学校区二子ども見守りたい一斉パトロールを三月五日十四時二〇分より実施しますので多数の参加をお願いします。  
 集合場所 徳山小学校運動場

## 編集後記

中村 友子

年も新たになり希望の春を迎えました。今回は、新春にあさわしく、なじみややすく、楽しい会報に！と、試行錯誤致しました。写真での講座紹介。来たる「きずな祭り」の成功を願ってタイトルも呼びかけ形式で「おいでませ」と。  
 シルバーも、成人も、子供達も、活躍のあることを、地域の皆さんへ情報発信する公民館でありたいと思います。  
 今後更なる発展の為に、多くの方々のご協力が不可欠であり、これまで以上のご支援をよろしく願っています。





**「講座紹介」**  
**「熟年社交ダンス」**  
 誕生して、十六年になります。徳山ダンス・スクールの小田泰子先生に御指導いただき、分かりやすくとても楽しい教室です。健康に感謝し八十八歳の先輩と心身共に若返りチョットお洒落していい汗かきませんか。確かに姿勢もよくなります。毎週木曜日十三時から入会をお待ちしています。



**「華道小原」**  
 忙しい毎日だからこそほんの少し花と遊ぶ時間をもつてみませんか。花の美しさを見つめて楽しんでながら自分の個性に応じておしゃれな自由空間が開けます。優しく親切な先生です。毎月第一、第三木曜 日九時三〇分 から入会をお待ちしています。



中・関老人クラブ連合会 会長 竹村 精一



**「マクラメ」**  
 マクラメとは、「結ぶ」と言う意味で素手に糸さえあれば両手を同じように使って結んでいきます。結び方、素材もいろいろで自分の好みに合わせて大きい作品、小物と、とても楽しく結んでいきます。毎月第一、第三土曜日九時三〇分からは是非ご参加ください。



**「着付け」**  
 先生は一人一人の個性に合わせて、より美しく仕上がるように指導してください。時間の経つのを忘れてしまうほどの雰囲気なかで自分なりの進歩を味わっていただけます。毎月第二、四火曜日十時から是非ご参加ください。



「着付け」



**年頭にあたっての抱負**  
 徳山小学校区コミュニティ推進協議会 会長 國富 晃

輝かしい平成二十年の新春を迎えて、皆様もご家族おそろいでよいお正月をお過ごしのことと存じます。さて、平成十九年の一年間を回顧しますと、この年ほど多事多端な一年はなかったのではなからうかと思えます。目をそむけるような残念な事件の数々の発生など、日本の将来を案ずる気持ちが一瞬になりました。こうして迎えた今年こそは、平穏で四波静かな年でありたいと願うのは、決して私だけではないと思います。特に私が直接関係しております福祉分野におきましては、すべての人に共通する願いは、社会的に弱者といわれる人達に、いかに暖かい施策を切り開いていけるかということにあるのは当然であります。そしてこのことが、すべての道に「共生」という言葉が完成として受けとめることができるのではないのでしょうか。

今、山口県は少子高齢化のまっただ中にあります。全国ペースより十年早く高齢化が進行している

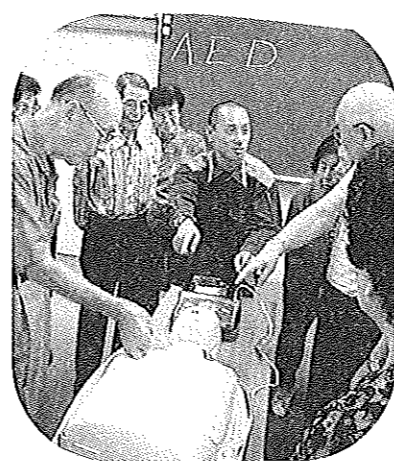


「生き生きはじらうセミナー」に参加して

といわれております。このまま進みますと、平成三十二年には全国第二位の高齢県になるとも推測されております。このときの高齢化率は三十三、六パーセントと云われています。実際に県民三人に一人は六十五才以上になることにもなります。最近地域における助け合いの心が希薄になりつつあるといわれております。その原因に、余りにも自己中心的、短絡的なものの見方考え方にあるのではなからうかと思えます。前言しました「共生」という考え方、つまり人と人とのかわりあいの中にこそ人間の真の生きる姿を求めることができるのではないのでしょうか。福祉の道を追求めることは極めて厳しく、またその目標に到達することは極めて遠いものがあります。しかし、せつかく自分で求めた道でもありませんし、今年はこの道で更に充実した一年を過ごしたいと年頭にあり、強く心に誓うものであります。



毎年、受講生より好評のセミナー（高齢者学級）が開かれた。9月に行われた一回目は、健康づくり「いつまでも若々しく」と題して、日常生活の中でどう考え実践すればよいか、特に坐ったままで、体を動かすこと、体の中心を意識すること、そして歩行や呼吸法等について、みんなと実践しながら楽しく教えて頂いた。再度受講したいと思う程、魅力的な講義であった。その思いは強かった。二回目のセミナーは十月初旬「もしもの時の応急手当て」と題して、実技・講習を二つのグループに分かれて行った。救急法が叫ばれて久しく、山口県下でも、早急に救



急法が押し進められている中で、時宜をえた講習であった。特に、年々、その処置の仕方が変遷しているAEDの必要性和使用法、心臓マッサージ、人工呼吸法等について受講者一人一人が実演、実技し、体験受講出来た。救命の尊さを体得しえた。受講生一同、真剣であった。さわやかな秋を少しばかり感じる十月末、三回目のセミナー「長寿のまち周防大島へ」が行われた。久賀町の「八幡生涯学習のむら」で、ボランティアアガイドさん（本日は休日なのに）の説明を聞きながら、さすが、我国の高名な民俗学者宮本常一氏の出生の島だけあって、その民俗、民具を通じて、ふるさとを大切にすることがふるさとを再生につながる等、よくわかった。島の中腹を走るオレンジラインを通り、たわわに実るミカン狩りをして、暮れなずむ帰途へとバスは走った。米年度もこの生き生きセミナーに期待したい。